

【 無料ダウンロード資料 】

社労士試験の勉強法

【平日2時間・休日4時間】社労士試験 に合格するための学習時間シミュレーシ ョン

※約5分で読めます

社労士試験の合格に必要な学習時間は、一般的に約1,000時間と言われてています。

私、個人的には1,500時間以上は経験から必要と思いますが、まずは最低でも1,000時間勉強することを目標にしてください。

働きながらこの時間を確保するには、日々の積み重ねが大切です。おすすめは「平日2時間・休日4時間」の学習スタイルです！

1,000時間総学習時間シミュレーション

まずは、年間の総学習時間を計算します。

次のようなペースなら、無理なく学習を継続して、1,000時間学習できる計算です。朝の通勤前や夜の時間を活用したり、**休日は午前と午後に分けて集中するのがコツになります！**

曜日	学習時間	年間日数（目安）	合計時間
平日（週5日）	2時間	約260日	約520時間
休日（週2日）	4時間	約105日	約420時間
予備・追加学習	—	—	約60時間
合計	—	—	約1000時間

上記の時間配分は「時間がない」と感じている人こそ、まずはこのシミュレーションから始めてみてください。

学習を始めて継続していくと、上記は無理のない学習時間だとわかります。

科目別の学習時間配分（目安）

次は、科目別の学習時間（目安）となります。
あくまでも目安なので、まずは、**ひとつおり学習したら**苦手な科目に重点を置くなど、勉強時間は柔軟に調整してください。

科目名	学習時間目安	得点効率	コメント
労働基準法	100 時間	★★☆	基礎科目、最初に取り組みやすい
労働安全衛生法	40 時間	★☆☆	出題数は少なめ、効率重視でOK
労災保険法	80 時間	★★☆	条文理解がカギ
雇用保険法	80 時間	★★☆	実務とリンクしやすい内容
労働保険料徴収法	100 時間	★★★	計算問題が多く、得点源にしやすい
健康保険法	120 時間	★★★	難易度高め、重点的に対策を！
国民年金法	120 時間	★★★	条文と仕組みの理解が重要
厚生年金保険法	120 時間	★★★	得点効率が高く、得意科目にしたい
労働一般常識	80 時間	★☆☆	白書・統計対策が必要
社会保険一般常識	80 時間	★★☆	法改正や最新情報に注意

上記、学習時間なら合計で約 920 時間です。

あとは、復習・模試・直前対策などを活用して、1,000時間を目指します！

月ごとの学習スケジュール

次は、月ごとの学習スケジュールです。

学習を始めるまえに、学習内容を年間計画としてざっくり決めておきます。そして、あとは勉強の進捗状況で変更していきます。

月	学習内容	目的
10月～12月	基礎インプット（全科目）	全体像をつかむ・学習習慣を作る
1月～2月	インプット2周目＋問題集開始	理解を深める・アウトプット開始
3月～4月	過去問演習＋法改正チェック	実戦力をつける・弱点発見
5月～6月	模試＋横断整理	得点力強化・知識の整理
7月	直前対策・白書統計・予想問題	最終仕上げ・暗記強化
8月	体調管理＋総復習	試験本番に向けて調整！

上記は参考なので、**「過去問学習」は可能な限り早く始めてください！**

あとは、テキストを読んで「過去問を解く」。とにかく、テキスト&過去問を繰り返すのが王道の勉強です。

地道な勉強こそ、実力が伸びます！

下記の記事で、初学者の方などの平均的な勉強時間など書いています。

きっと、参考になるのでご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→[【社労士試験 初学者！】合格レベルになる平均的な勉強時間を解説](#)

しゃろうむ